

山城 優菜

沖縄県立看護大学

看護学部へ進学

興南中学校出身

JRC・インターアクトクラブ所属



*妹の出産に立ち会う経験

コウノトリというドラマをみて、助産師に興味をもった。母が自分の夢を理解してくれていたので、16歳年の離れた妹の出産に立ち会わせてくれた。その際に助産師さんの姿を見ていいなと再度思った。医療系の職業は、男性のイメージが強かったが、女性が輝いて働ける職業として魅力的に見え、志すようになった。

— フロントティアコースとは? —

6年間ケンカも多かったけど、最終的にはクラスやコースでまとまって、勉強やイベントごとに取り組めるコースだった。皆フレンドリーで面白い人が多かった。

— 興南で成長できた事は? —

自分自身の性格を変える事ができた。人前で素直になれず、人と接することも苦手だったが、フロントティアの友人や先生たちが優しく接してくれたので自分自身を見つめ直し、成長することができた。

— 大学受験どうだった? —

6年間同じ先生だから、勉強に悩んだり、つまづいたときに、自分に合った言葉かけ、先生からの根拠のある受験アドバイスをしてくれた。長く付き合いがある分、自分のクセなども把握してくれてありがたかった。

受験の面接練習は、担任ではない担当の先生が過去の受験レポートと一緒に観て予想しながら練習を行ってくれありがたかった。

小論文対策では、文字数が今年から変更したこともあり大変だったが、国語の先生が何度も添削してくれ、試験を乗り切ることができた。対策はきつかったが、今振り返ると凄く感謝している。

志望校を高3に変えたこともあって科目変更なども大変だったが、結果的に勉強も楽しくでき、自分の学びたいことがある大学に合格できて良かった。

— これからの目標は? —

大学では助産師になるために今まで以上に勉強を頑張っていきたい。沖縄県立看護大学では、助産師の授業が成績の上位の学生から選ばれるということなので、その枠に入るように頑張りたい。

将来、患者さんに寄り添い、入院という普段とは違う生活を不安なく過ごせるようサポートできる助産師になれるように頑張りたいと思う。

